Medical Imaging Technology投稿票

（以下、青字を上書きして使用してください）

1. 希望する原稿の種類（投稿規定第2条を参照）

研究（A）

1. 論文タイトル

「Medical Imaging Technology投稿用テンプレート」

1. 著者リスト（氏名：所属機関，住所，メールアドレス，会員情報）
* 山田太郎：筑波大学大学院システム情報工学研究科　〒305-8573つくば市天王台 1-1-1　taro@virtual.tsukuba.ac.jp　JAMIT学生会員
* 鈴木次郎：㈱医用画像研究所　〒992-8510米沢市城南4-3-16　jiro@imi.co.jp　JAMIT正会員
1. コレスポンディング・オーサー（氏名：日中に連絡可能な電話番号）

鈴木次郎：0238-26-3324

1. この論文は博士取得のための要件になっていますか？

 はい いいえ

※博士取得の要件になっている場合、査読プロセスをできる限り迅速に行うよう配慮します．

1. この論文は投稿勧奨を受けていますか？

 はい いいえ

　　受けている場合は，投稿勧奨を受けた演題名，大会名を記載してください．

* 演題名：
* 大会名：
* 推薦番号：
1. 電子付録の有無

 有　　　　　　　　　無

（有の場合は以下を明記）

ファイルの種別： 動画像

ファイル形式：　 avi

内容：　　 図1を説明するためのボリュームレンダリング画像

1. 利益相反の有無

 有　　　　　　　　　無

（有の場合は以下に詳細を明記）

本研究の一部は㈱MIT製薬の研究助成金を得て実施された．

※科研費等の公的研究助成は謝辞に記載してください．

1. 生体に関わる研究の場合、その倫理指針を順守しているか？（投稿規定第7条を参照．生体に関わらない研究の場合は該当しないを選択）

 はい　　　　いいえ　　　　該当しない

1. 想定される査読者候補（3名まで）（氏名：所属機関，メールアドレス）
* 坂本竜馬　高知工業大学大学院工学系研究科　ryoma@kit.ac.jp
* 土方歳三　函館大学大学院理工学研究科 toshi@hakodate-u.ac.jp
* 保科正之　㈱会津製作所　masayuki@aizu.co.jp

※編集委員会で査読者選定の参考とさせていただきます．必ずしも査読者として選定されるとはかぎりません．

1. 希望する有料別刷部数（50部単位）

100 部

テンプレート（全ての原稿の種類に共通） Ver. 2.1（2017.3.21改訂）

Medical Imaging Technology投稿用テンプレート

山田　太郎\*1　鈴木　次郎\*2

要旨

これはMS-WORDで原稿を作成する際のテンプレートです．まず，この部分に400字以内で和文要旨を書いてください．ただし本文が英文の場合は要旨も英文とし，本文の後に和文要旨を書いてください．

キーワード：テンプレート，フォーマット（和文キーワードを書いてください．5語以内）

1．はじめに

　MS-WORDのファイルで論文投稿される方はこのフォーマットにしたがって原稿を作成してください．なお，この書式は変更しないでください（フォントの大きさ，ページサイズ，段組，文字領域，行間，余白など，このスタイルを守ってください）

　著者の所属，住所，電子メールアドレス等を１ページ目の左下に書いてください．テキストボックスを使うと便利です．このスタイルファイルではテキストボックスを用いています．テキストボックスの使い方はMS-WORDのヘルプなどを参照してください．テキストボックスは左下隅に置いてください．テキストボックスは入れる文字数に応じて広げられます．ただし横方向（段の幅）には延ばさないでください．

　JAMIT大会抄録執筆の場合・・・抄録のページ数を原著論文なみのページ数（最大10ページ）まで認めることとしています．抄録にやや加筆してさらに完全なものとし，あるいはそのままでも論文として投稿できる大会査読付論文制度を実施しております．この制度への投稿論文に対しては，MIT誌規定通りの正規の査読がなされますが，早めに出版できるように査読のプロセスを工夫しております．

――――――――――――――――――

\*1 筑波大学大学院システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻

〔〒305-8573 つくば市天王台1-1-1〕

e-mail: taro@virtual.tsukuba.ac.jp

\*2 ㈱医用画像研究所

投稿受付：2003年1月31日

2．本文の書き方

　本文は原則として2段組（1行あたり約21字）でお書きください．ただし，図表の配置などの関係でうまくいかない場合は，1段組みでも構いません．その場合は1行あたり約42字でお書きください．また，本テンプレートはA4サイズです．

　電子付録を含まない論文の場合は，ファイルのサイズは10Mバイトを上限とします．電子付録を含む論文の場合は，執筆要領に説明があるファイル形式で1論文につき5ファイルまでファイルサイズは10Mバイトを上限とします．

1）フォントについて

用いるフォントは原則としてこのテンプレートに倣ってください．以下のようなルールになっています．

フォントの種類：

　和文は見出しのみMSゴシック（太字），その他は明朝体．英文はすべてTimes New Romanとしてください．

フォントのサイズ：

 タイトル　16ポイント

 著者名　14ポイント

 要旨　9ポイント

 本文　10ポイント

2）図表について

　図表の番号は図1, 表1などとし，キャプションは和文でお願いします．また，図表中の説明は和文と英文のどちらでも可とします（論文単位で統一してください）．次頁の例を参考にしてください．

　デジタルカメラやスキャナから図を取り込む場合の解像度の目安は，だいたい300dpiです．もちろん，図の大きさにもよりますので，文字などが十分判別できるように，適宜行ってください．（論文の場合，印刷時に図が判別しにくい場合には，高精細な図を別途お願いすることがあります）

図はカラーでも結構です．カラーの図はカラーのまま電子出版されます．

　2段にまたがるような大きな図がある場合，2段組の文章と混在させて原稿を作るのが難しいかもしれません．このような場合は，前述のとおり1段組で本文を書いていただいて結構です．また，図がうまく所定の位置に入らない場合は，まず図を選び，マウスの右クリックでメニューを出し，下から2番目の図の書式設定を選び，その中のレイアウトを選んで，四角を選ぶとうまくいきます．

3）句読点について

句読点は必ず「，」「．」に統一してください．「、」「。」を用いたり両者が混在したりしている原稿が見受けられます．

　4）ハイパーリンクの利用

　このスタイルファイルは基本的に冊子体の論文誌または抄録集をイメージして作成されています．しかし，URLを記載することで読者の理解を深めるならば，その利用も可とします．ただし，そのURLをクリックしたときに，「そのコンテンツが不明」というような一時的なコンテンツにはリンクを貼らないでください．あくまでも，永続的に存在するURLに留めてください．



**図1** 図のサンプル．図のキャプションは和文でお願いします．図中の説明文は和文と英文のどちらでも可とします．

**表1** 論文の各部分で使用するフォント．

|  |  |
| --- | --- |
| 部分 | フォントサイズ |
| タイトル | 16pt |
| 著者 | 14pt |
| 要旨 | 9pt |
| 本文 | 10pt |

5）数式について

　数式は原則として，MS-WORDに組み込まれている数式エディタを使ってください．以下にサンプルを示します．

　 (1)

数式には右隅に番号をつけてください．ベクトル，行列，テンソル，パラメータをどのような記号で表記するかはルールを定めていませんが，理解に支障がない一般に使われている表記を用い論文中で統一してください

6）参考文献について

　文献は文中で引用された順に番号を付けることとし，かぎカッコで［1］，［2］，［3］などと記載してください．

　著者名は3名までとし，以下はet al または他，としてください．

　雑誌はこのテンプレートの例の［1, 2］に倣ってください．

　著書は和・英文ともに，著書名，書名，巻数（版数），発行社名，発行，地名，発行年（西暦），頁，の順に記載し，分担執筆の場合，分担者が明記してある場合はこれを記載してください．このテンプレートの例の［3, 4］に倣ってください．

3．まとめ

　以上，本テンプレートにしたがって原稿作成をお願いいたします．

**謝辞**

　〔例〕研究遂行にあたり貴重なご助言を賜った田中栄一 日本医用画像工学大学名誉教授に深謝いたします．本研究はJSPS科研費 JP12345678の助成を受けたものです．

**利益相反の有無**

著者グループが各々の本務とする機関・団体以外の企業あるいは営利団体との利益相反関係がある場合には，ここに利益相反関係を明示してください．なお，公開の基準については，「利益相反の取り扱いに関する規定」第3条（COI自己申告の基準）を参照のこと．

<http://www.jamit.jp/outline/agreement/rieki.html>

〔例〕本研究の一部は㈱MIT製薬の研究助成金を得て実施された．無い場合は、「なし」と記述してください．

**文　献**

［1］　田中栄一：解析的3次元再構成． Med Imag Tech **18**: 33-39, 2000

［2］　Ogawa K, Harada Y, Ichihara T et al: A practical method for position dependent Compton-scatter correction in single photon emission CT. IEEE Trans Med Imag **10**: 408-412, 1991

［3］　岸上義彦，橋本良夫：画像解析と細胞診．辻内順平編：応用画像解析．共立出版，東京，1981, pp198-210

［4］　Muehllehner G: Scintillation Camera Collimators. In: Nucelman S, Patton DD eds. Imaging for Medicine Vol. 1. Plenum Press, New York & London 1980, pp77-87

#### Template for Medical Imaging Technology

Taro YAMADA\*1, Jiro SUZUKI\*2

\*1 University of Tsukuba

\*2 Medical Imaging Laboratories, Ltd.

Write the abstract of the paper in this area in 200 words. If the paper is written in English, write the abstract in Japanese.

**Key words:** Template, Format　(maximum 5 words)

## 著者紹介

和文でも英文でも可。

|  |  |
| --- | --- |
| ここに顔写真を貼り付けてください． | **山田　太郎**(やまだ　たろう)1990年筑波大・情報学群・情報学類卒．1995年同大大学院博士課程･システム情報･CS専攻了．現在，筑波大・システム情報・准教授．2005年日本医用画像工学会論文賞受賞．工博．CTとPETを中心とした医用イメージング，画像処理の研究に従事．IEEE，電子情報通信学会，各会員． |
| ここに顔写真を貼り付けてください． | **鈴木　次郎**(すずき　じろう)1995年筑波大・医学専門学群卒．現在，医用画像研究所･主任研究員．医博．計算機支援診断の研究に従事． |